



令和3年1月号

## 笑門来福

“笑う門には福来る”という意味です。この言葉、お正月に「福笑い」で遊ぶ様子から生まれたと言われています。「福笑い」とは、目隠しをして目・鼻・口などのパーツを並べて顔を作る遊びです。完成した顔を見て「変な顔だ〜」とみんなです。そうやって新年から笑顔のあふれるところには良いことがやってきそうですね。

昨年を振り返ると、寂しい思いや、悔しい思いをしたり、笑顔で過ごすことも難しい時もあったことでしょう。でも！今年は努めて笑顔で福を呼び込みましょう。きっと舞中のみんなに福来る!!

まずは、お年玉として、**今月は毎日3冊まで借られます**♪話題の新刊も借りちゃおう！

さらに…「福」つながりで↓

## 本の福袋 2021

本選びに困った人に。テーマ別にセレクトした本が3冊入っています。中身は見えないので、開けてからの楽しみ♪借りる時は、一袋を1冊でカウントするので他にも借りたい本があったら、あと2冊借られます。(合計最大5冊)

自分では選ばないような未知の本に出会えるかも!?

数に限りがあるので、お早めに〜。

## 今月のテーマ展示は、「いじめ問題を考える」

1月12日~18日は「いじめ問題を考える週間」です。1学期も実施しましたが、よく借りられていました。今回も、他人ごとではない身近な問題と考えるように様々なジャンルから選書しました。読んでみてくださいね。

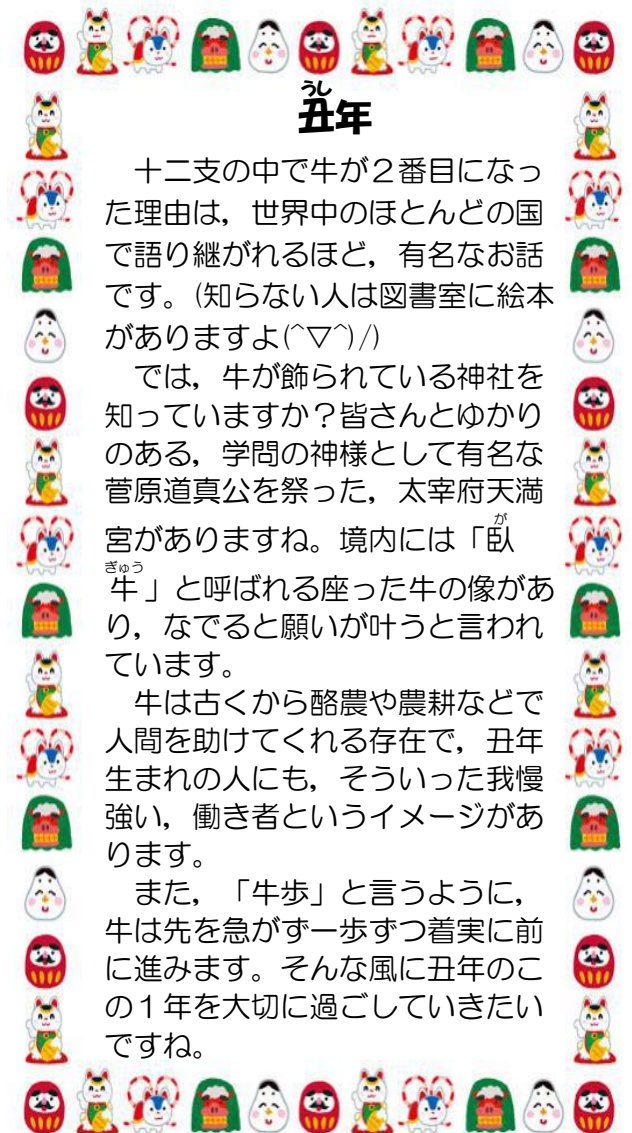


おまけが入  
てるかも〜

## お知らせ

3学期が始まったばかりですが、**今年度の図書の貸出は2月19日まで**です。

借りたい本や気になっている本があったら、早めに借りてくださいね。



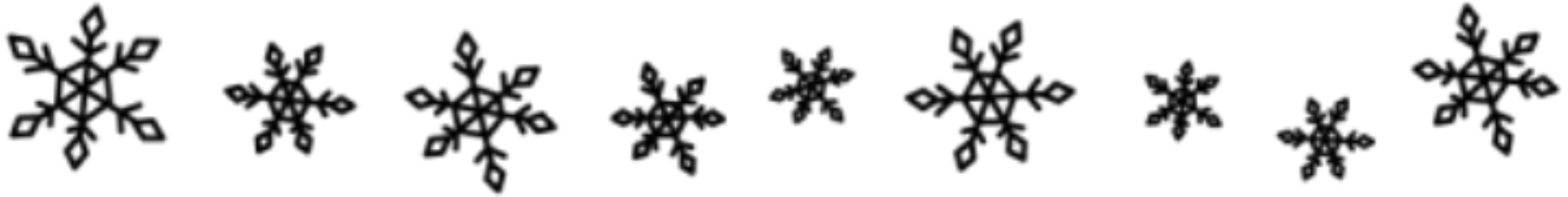
丑年

十二支の中で牛が2番目になった理由は、世界中のほとんどの国で語り継がれるほど、有名なお話です。(知らない人は図書室に絵本がありますよ(^▽^)/)

では、牛が飾られている神社を知っていますか？皆さんとゆかりのある、学問の神様として有名な菅原道真公を祭った、太宰府天満宮がありますね。境内には「臥ぎゅう牛」と呼ばれる座った牛の像があり、なでると願いが叶うと言われています。

牛は古くから酪農や農耕などで人間を助けてくれる存在で、丑年生まれの人にも、そういった我慢強い、働き者というイメージがあります。

また、「牛歩」と言うように、牛は先を急がず一歩ずつ着実に前に進みます。そんな風に丑年のこの1年を大切に過ごしていきたいですね。



## 新刊案内

- ☆『劇場版鬼滅の刃 無限列車編ノベライズ』… 吾峠呼世晴・原作
- ☆『だから私は、明日のきみを描く』… 汐見夏衛・著
- ☆『十の輪をくぐる』… 辻堂ゆめ・著
- ☆『JR上野駅公園口』… 柳美里・著
- ☆『正義の教室 善く生きるための哲学入門』… 飲茶・著
- ☆『小説 弱虫ペダル4』… 渡辺航・原作
- ☆『お探し物は図書室まで』… 青山美智子・著
- ☆『イッカボック』… J・K ローリング・著
- ☆『階段にパレット』… 東直子・著
- ☆『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』… 東野圭吾・著
- ☆『ひきこもりの弟だった』… 葦舟ナツ・著
- ☆『すごいぞ！はたらく知財：14歳からの知的財産入門』… 内田朋子ほか・著
- ☆『オルタネート』… 加藤シゲアキ・著
- ☆『夜に駆ける：YOASOBI 小説集』… 星野舞夜ほか・著
- ☆『鬼滅の日本史』… 小和田哲男・監修
- ☆『すべての瞬間が君だった きらきら輝いていた僕たちの時間』… ハ・テワン・著

この他、第164回芥川賞・直木賞/ミネート作品も順次入る予定です。

### 本の返却期限を守りましょう。

おもて  
表のお知らせにもある通り、図書の貸出は、**2月19日まで**です。

人気のある本は予約もたくさん入ります。読み終わっていても、期限内に一旦、返却しましょう。

また、教室等に放置されている本を見つけた時は、図書室か学級の図書部長に届けてください。みんなが気持ち良く利用できるよう、ご協力をお願いします。

